

## 地域の活動紹介

### 食事づくりでつながる「東京ソテリア」の活動

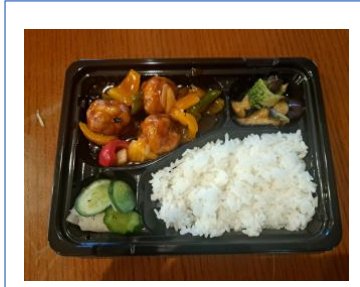
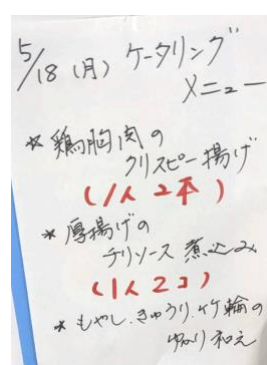
こんにちは 東京ソテリアです！

こどもたちの居場所「そだち野」(東京都ヤングケアラー相談支援事業)では毎週月曜日に、ほっとマンマさんの手作り料理でこどもたちはお腹を満たしています。いつも工夫を凝らしたお料理の提供をありがとうございます。ここではそだち野の活動を展開している東京ソテリアについてご紹介します。ソテリアは2009年4月に江戸川区松島に設立しました。精神障害があっても入院や施設ではなく、地域での暮らしを目指し活動。グループホームからスタートし、地域生活支援、就労支援、相談支援、家族支援等を行ってきました。精神障害についての普及啓発事業や海外との交流事業も行っています。

この「入院や施設ではなく地域での暮らしを目指し」と言うところが、ほっと館の理念と似ていると思いませんか？私はそんなところに共鳴してほっと館、ほっとマンマとソテリアをつなぎたいと思っていました2022年から東京都の補助事業として活動を始めたそだち野は、当初地域活動支援センターはるえ野の調理場でこどもたちの食事を作っていましたが年々グループの

参加人数が増え、さらにそだち野には来られないこどもたちに配るお弁当の数も保健所から認められる食数を超えるほどになり自前の調理に限界が、。この時に、そうだ！ほっとマンマに相談してみよう！とひらめいたのです。話ほとんどん拍子に進み2025年7月からは食事作りを全面委託、私たちスタッフも安心して食事の提供ができています。マンマには専用のフライヤーがあるのでいつもパリッサクとした揚物はこどもたちに大人気です。ひとり2個までと注意書きがあっても「もう1個いい？」と全体の個数と人数を割り算して算数の勉強にも役立っています。

そだち野の活動案内は <https://soteria.jp/> 家族の健康を心配しているこどもたちへ をご覧ください。(金城順子)



ケータリングはお弁当と総菜のみの2パターンを提供しています

### NPO 法人ほっとコミュニティえどがわの活動

NPO 法人ほっとコミュニティえどがわは、高齢者がいきいきと安心して暮らせる場をつくり、その活動を通じて、地域に生活する人々が自ら、人と人との関わりを支えあうコミュニティの創造と地域福祉をすすめることを目的として活動しています。

#### ● 高齢者共同住宅「ほっと館」の運営

自分流の暮らし方を大切にしながら、一緒に暮らす者同士、互いを気遣いあいながら、程好い距離感を保ちつつ暮らす。そんな高齢者のための、新しい安心の住まい「ほっと館」を運営しています。

#### ● コミュニティレストラン「ほっとマンマ」の運営

ほっと館の居住者、地域の皆さんにむけ、安心したお食事の提供をするだけでなく、多様なテーマでの講習会やイベントを実施。地域のほっとスペースとなることを目指しています。現在は毎週水～金曜日開店、毎月第3日曜日12時から「えどがわ あったか子ども食堂」第2土曜日16時から「ヤングケアラーズカフェ若葉」を運営する団体に店舗を貸し出しています。

#### 会員募集

<会 員> 入会金：一般/5,000円 大学生/2,500円 年会費：一般/6,000円 大学生/3,000円 高校生/1,200円

<支える会> 法人の活動を財政的な側面を含め支援します。 年会費：3,600円

# ほっと通信

Vol. 90 2026年6月10日発行



発行：NPO 法人ほっとコミュニティえどがわ

～もくじ～

1p～2p…定期総会報告

3p…ほっと応援団

4p…地域の活動紹介



〒132-0021 東京都江戸川区中央2-4-18

NPO 法人ほっとコミュニティえどがわ

電話/03-3652-7212 FAX/03-3652-7215

Eメール/hotcom@nifty.com

<http://hot-edogawa.com/>

「NPO法人ほっとコミュニティえどがわ」は、高齢者の新しい住まいづくりを通して人と人が支えあうコミュニティ形成を目指しています。

### ◆ 2026年度第25回定期総会報告

2025年度、「ほっと館」開設21年目を迎えました。高齢期に誰もが自分らしく充実した生活を送ることが出来る共同住宅として、制度に則らない独自の運営を行ってきました。

2025年度は、ご本人の身体状況の変化やご家族の意向により退居が続き、現在3室が空いた状況です。入居者募集については、地域のミニコミ誌である「葛西新聞」「浦安新聞」「いちかわ新聞」や新小岩駅前の「小松通り会」に広告を掲載しました。電話による問い合わせや資料を送付した方は数多くあった中、実際に見学に来られ入居につながった方はありませんでした。

高齢になって住居を移すことは、ご本人の決意も必要ですが行動に移す労力は想像以上に大変なことだと感じます。20年以上に亘り、多くの高齢者の暮らしを支えてきた経験を活かし、数ある高齢者向けの住宅との優位性を伝えつつ安心できる住まいの提供に努めていきます。

また、「ほっと館」開設から20有余年が経過し、この間の社会状況は大きく変化しています。時代の要請を踏まえた、これからの「ほっと館」のあり方について、引き続き検討し明らかにしていきます。

### ◆ ※ 総会報告/会員32人中、出席11人、委任状11人により、すべての議案は承認されました。

### <ほっと館の運営>

#### ◆ 安心して暮らし続けていただくために

「ほっと館」にお住いの皆さんおひとりお一人が、どのような暮らしを望んでいるのか、その思いに「ほっと館」は応えられているのか・・・常にその問いを大切にしたいサポートを心掛けたいと考えています。

おひとりおひとりの暮らしを尊重し、「ほっと館」で望む生活が継続できるようサポートしていきます。

・関係機関との連携を図ります

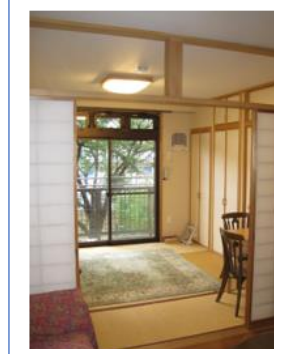
・体調の変化を見過ごすことのないよう、居住者の暮らしを見守っていきます

・生活CO間の情報の共有を大切に、不安なくサポートができるようにします

#### ◆ 協働の住まいのプログラム

・ほっと館らしさが十分に味わえるよう、「昼食会」や「美味しいもの」といったイベントだけでなく、日常の関わりを大切にします

・同居の若者たちとの関係性も深められるよう、時間の共有を図ります



## <ほっとマンマの運営>

コロナ禍以降、運営がさらに厳しくなりランチタイムのみの開店、提供する料理を1種類にして1週間のうち3日間に絞ることなど、思い切った変更を実施してきました。また、昨年7月から毎週月曜日に東京ソテリアからのケータリングで70食の食事づくりの受託もあり、少しずつ経営状況が上向いてきましたが赤字解消には至っていません。

2026年度は、3日間の開店日の売上げをアップさせることや原価率をさらに低くすることなど、マンマスタッフ会議で確認しました。

また、昨年はランチタイムに「ラトビア料理」のシェフを招いて料理の提供をしていただきました。普段の「ほっとマンマ」を利用していない方など、多くの方が来られラトビアの国の話などを聞きながら楽しい時間を過ごしました。今後も、このようにワンデイシェフとしてさまざまな料理を提供するなど、イベントとしての開催をすすめていきます。

さらに営業していない火曜日の有効な利用について、周辺の団体などにも相談したいと考えます。

## ●「えどがわあったか子ども食堂」の運営

2016年4月にスタートした子ども食堂は10年間つづけることができました。「あったか子ども食堂」と名乗る他の2店舗と共に、今年度も多くの子どもたちや子育て家庭の交流の場として続けます。

## <調査研究>

### ① 「ほっと館」の情報発信

- 「ほっとコミュニティえどがわ」のホームページ、「ほっと通信」により、「ほっと館」の現状について情報発信をしています。

### ② 政策提言活動

- 住宅価格の高騰、家賃の高騰は尋常ではありません。住居費の増大は、安心して地域に住み、暮らすことを脅かす大問題です。真っ当な住宅が、適切な住居費負担で確保できるよう、行政に働きかけていきます。
- 国、東京都及び江戸川区の行政計画等のパブリックコメントについては「ほっとコミュニティえどがわ」として積極的に意見を発信していきます。

## <2025年度決算報告>

常収益)	(経常費用)		
1. 会費収入	182,600円	経常費用	
2. 寄付金収入	100,000円	(1)人件費	10,780,648円
3. 受取助成金	633,000円	(2)その他経費	12,776,144円
4. 事業収益	18,553,903円	<b>経常費用計(管理費含)</b>	<b>23,742,646円</b>
5. その他収益(参加費等)	776,668円	税引前当期正味財産増減額	<b>-3,496,475円</b>
<b>経常収益計</b>	<b>20,246,171円</b>	法人税、住民税等	70,000円
		当期正味財産増減額	-3,566,475円
		前期繰越正味財産	62,570,589円
		次期繰越正味財産	<b>59,004,114円</b>

※東京都に提出する活動計算書に基づく



## ◆ ほっと館応援団の紹介 ◆

今回の「応援団」のコーナーにご登場いただくのは、今年の総会で新しく理事に就任した 寺町健也さんです。

以前「ほっと館」応援団として登場していただいた、元同居人の方ですが、故郷の岐阜羽島に戻ってからも、事務所のパソコン操作やインターネットのことで困ったことなど、さまざまなことについて相談に乗っていただいている心強い存在です。この度、理事就任をお願いしたところ、快く引き受けていただきましたので、再び応援団としてメッセージを寄せていただきました。

この度「ほっとコミュニティえどがわ」の理事に就任しました寺町健也と申します。ほっと館には2021年9月から1年強、居住者としてお世話になりました。その頃にほっと館のPC買い替えやセッティングなどをお手伝いしたことをきっかけに、岐阜へUターンしてからも、ほっと館のIT周りについて、遠隔でのサポートを続けています。

上京の際にはほっと館の和室に泊まらせていただきつつ、事務所や居住者さんのITサポートをしています(ITは本業ではありませんが…笑)。不思議な御縁が続いています。

岐阜では合気道の道場運営で生計を立てようと奮闘中です(\*道場名は「合気道至心会」)。2026年6月現在、会員が30名まで増え、少しずつですが稽古環境も充実してきました。

道場運営の傍らでは、耕作放棄地だった実家の農地を使って、合気道の仲間と循環型の野菜作りをしています。無農薬・無施肥で元気な作物が育つ「菌ちゃん農法」を実践中です(※プランターでもできる農法なので、興味のある方はお調べください)。農業資材が高騰する時代ですが、田舎には無料で手に入るものが(文字通り)そのあたりに転がっているので、そうした「お宝」を見つけることが楽しみのひとつです。先日はご近所さんから梅を大量にいただきました。



寺町健也

最近では自分で育てた大豆を材料として、仲間と一緒に味噌を仕込むイベントなんかもやっています。道場運営も農作業もまだまだ途上ですが、東京にいたときには想像もしていなかったような生活を営んでいます。人生、何が起こるか分かりません。

話を戻しまして、ほっと館はいま様々な点で岐路にあると感じていますが、岐阜からお手伝いできることは限られます。遠くからではありますが、自分にできる範囲でほっと館の応援を続けて参ります。引き続き、よろしくお願いたします。



毎年、春になると岐阜から送っていただく新鮮な筍です。  
居住者の方との昼食会や大掃除のあとの食事会のときにいただいています。



3

3